

61:9 Uchida, Mr. and Mrs. Dwight T., Letters from Others

1952, n.d.

86197 C

tell her that W. B. Smith says
he expects a card from her
saying she will arrive the next
day and it will be his only
busy day in weeks - I think
he would like to see her
and MM when he has a
leisurely day - So would I

Bye now - lots of
love and thanks -

Rene -



Feb. 27 - 1958.

My dear Sue -

Your letter with the card AND the book all came yesterday. I read your letter first of course; and the card and then the book - Yes, I read it all the way through, and looked at the pictures and even enjoyed them too. The story is remarkable the way it builds up to the climax. I read it half way through again.

The illustrations are so life like. I keep wondering could a man with the name of William Hutchinson do

such intricate drawings without a slip anywhere?? Wouldn't he do something that would tell me he was not quite Japanese? The more I look the more I see something to enjoy. Who is the man?

As for Yoshi, she always does well so I'm not surprised at that, but just proud and delighted. So I thank you, and I thank Yoshi and even W.M.H.

It all helped to give me a good day as I had to stay quiet. How the book will be enjoyed by others!

If Eleanor telephones you do

内田是正・姫江様
父節をかねて、立春が過ぎ、空には漸く春の季節しか見えはしませんでした。昨日はお手紙を頂
きまして有難うござりました。旦は喜び且は感激し、胸がせまる思いを致しました。恭うながす
入る一まずはつて、ふれぬも「う」と三枚まで配つて、常に経費の事を半斗も前から考みて、
洋服(制服)は山家にある布を染めかえて、学校から型紙を依頼して来て仕立てて予定を立て、前は
はまるの靴を用ひるにしきabanは私がローケツ染をして手製にするなど、経費の父節約と工夫をして
いました。学校は私の居る西山に中学校がありますので、そこの入る事をさせた事にしました。私とも私の居
る学校です。本人もしっかりやそられる事であります。私も注意が行き届くと思います。月謝が月八百円
あります。これは内職をはまることなくしてくる事であります。経費の父節約と工夫をして
雨親も心から喜む事は感覚としています。何だか大らかにいた氣持で、減入つての氣持がこれに
よりて三倍にも五倍にも力づけにあつて、人後明るい気分をもつ事が出来、ほかの事も好転する事で
あります。はまると大きくて、五、十、百は有効に、適切に使用される事と想います。私の給料
が半分位はまことに、不思議な気持で感動させ、つも一万円の予備費さえ出来たら、と
言つて、松達は一月の賃金さえなげたのか、もう撮影しても不足なのです。然して家庭はや子供
借金はありません。成績も向上し、よく宿題がながくと手伝もします。これからは子供達をほんと
にしっかり育てたいと思ひます。自らくおれを床上ます。
僕も感動をかぎり、交わる人も従う知識局で、南ちゃんが拓を見るとも一日一日と正確にそこを含
せぬか出来、感受性が高靈で、親しう、何ひ日本のように所を見つけ、そこで負傷を批判して
行くのが、末日を時より、ずっと日本ひきにありました。十二月廿日は東京まで行き、ほととんに面白
一日を送りました。京都で一乗閣大き、中乗閣のP.T.Aの総会で、南ちゃんは実に堂々と模範に向ひ
しもよくわかるが、大好評でした。いつもたまも詮かつき、おしゃべりながら打切ることに一通りした。
この十四日に又、私の学校へ来てもう二回に講話を得ています。
もせんぐくれまで、いつもエニヨーイサセでもうつた。面白がつたとおきつくれます。こんな人格
に由て上げられた兄さ姉えに心からなる尊敬を感じます。ひ井完次郎氏は初の最取も尊
敬する芸術家で、は井さんとの交遊が開けたことは大きな幸運でした。壽岳文章先生
とも通り、又一人からと実業の高い教養食を得てあります。日本の大学院の生徒が二年も三年
日本の一一所でなく、吸収つかれることばかりの上習びです。
南ちゃんは、行處へ行きたと申れ、多謝されますが、お水は人柄の美しさが、日本の人々を惹つける
所ゆつたりした知性にみかれた態度と、好意と親切、それに巧みな話しぶり、公平で穎敏な
高見、くもくとれな美しい感情。とにかく、若く、多くにあれど日本の人達の才質、несかな感心を
人に與えます。うちのま供達も心から南ちゃんを慕つてます。其の愛情の表現はよろしく思つ
が。松達も南ちゃんがどう思え、おもののが大きの、松達がどう思えるもののアホニとも、残念に思つ
てます。然しその其えようとするものは既に多く持つてゐるのも、

S. Okamura,
Mukō-machi,
Kyoto, Japan.



Mr. & Mrs. D. T. Uchida,
645 - 63rd St.,
Oakland 9. Calif.,
U. S. A.

PAR AVION 航空

この郵便物には何物も封入又は添附できません

一層雨が止り、日を隔てて歸人で戻りました。お蔭様で舟宿を渡る人
も三人増えました。慣習で此を氣取ははしませうが、子供の成長をして
くれたと喜んでます。今子供が大きくなりまでは、花火から數年間
はあり一層苦しき生活でした。子供を上級の学校に入学した事から夫婦もまた
更は母として又新し土器の培養工作を嬉しく育む事が一杯です。お蔭様で
子供達も最近元氣で病氣の心配もなく、不自由な事没有で、何より
幸運。一番下の和太も、来年は学務校へ入る事になります。おも更に幸運に
恵まれる事無く、一生懸命に働く所で、思つて居ます。四月には
隆吉も五年、裕子も二年と夫婦連名前を改め、学務校の成績を上位で
先生の信託も厚く、裕子は優秀です。田舎で不程嬉しいことはござりません。

淑子様にもお手からお世話をうけます所、又お名前を市長公に
サヨリで申されたりて何う事か。上品な言葉が出来り物じはお美
音も及ばぬ所で恥ぢてゐる。萬西親の感化と敬服致つて何う
事か。初耳も子供達をえりよくする事にはもろく努力をやめ
ず、之を敵へふれました。PTAや東京さん等もあちこち、主人が引つ随
りおしゃべりを、寒い折さうし淑ちゃんが風邪でも引ひたかとそぐ度合に
私の家へお越しあります。慣れない土地の氣候は身体に二云へても立派です。
昨日も壁へおひが邪魔になつてゐました。三月上旬の暖かく晴れてしま
たる又春の陽気、たゞ思ひ出します。ほんとに今はあります所下
すよ。厚い——お元申上手です。

星色はほとて美しい。かく人若はるやある。ばかり見せゆうて因り玉手
苔森は私を邪めて、一た湯あゆうは薙でソリと見ゆすせて頂そとす。私は
あなたたちうどうでもうござりておせぬにちよばかりひそりお京駅での失敗七
海をやからか半ばかありまつたか（私はからてしちうにハシ）ほとて此えに氣をもせ
自分もハリえうたすひすか矣が、せうておうとうたうひすかんにこまくはれを
うて改り、こちらの三方かはがかくこまくは、坂ちゃんはとすの配して屏りの洋車貸を
どうとも解してひきやめた又堰戸口（三千円）お土産と云うそれまつた私共は予
定の半分位で車を行きを階へ、また多くも柴山も私共の運を代までありおして
下さうがでほきをすまちいと思ふてけり。もう略々（私がちすのが氣兼ねたらう
アドからちうてもらふがだとゆひちき」と云うて笑ひす。ほんと貧弱なあばで
うかとつがりをさせ、氣の毒だと思ひます。運はほくあお席まで移しておこる
此段は後所でりやちよかあくとも苦にからむなどやうす。毎日一湯に立ち候が、
かうえなう考るのほちだありでせうとおしてけりま。

生代や箱代と別に取るのをすよほし茶等中味たり舌と箱代とさうかすまかたと
かして居りそな兄さん大きな空港を送そろそろそなう満月を一ぱく見て居り
そよほそな都會ぐらハカニカナリソリキ
二子四谷は一筋は解が食ふれるとホーリーで進むもあらホーリーで進むもあ
バースデーネキセ新がおからくつむりそとて居るにほんと無念ですうけねど
仕方かありませぬからマ、にゆづりそとマ、の氣持ちも今いそとからね
お金の心配はアラモセアアガカリして居るああかたえありまちかう
姉上に志死かりちり病よ病をかと家く時々は日本着て着て下りそと
おれやと様子屏風は三段でりがねも三年以上かのせうづりひきのう

日本の人達の前に立つては、重な洋服と同じ様に取扱いものなうで、私はどうかこうして、自分は平氣の人か何と思つたか。私は昔からどうりでアーティストのよ
淑女などは、今まで、やめきとうなし、柄だとほめてくれます。
今までは、一月、二月以來、美松さまで、昔の半身像を送り、やむむだと思つて、行
たら、半で思ひかけない、うひやがちで、お半身をおもたて、金りあつて、
やはり神経は悪く、ばかりは、下すら、のど感謝して、居ります。
たゞ、えぬが、長夜難解、實、直、美松、枯え等に、おれ、分け子たどり、その道筋が、この物を
残さずして、前後で、多くあるので、心配であります。

時二十のは私も百体假もひりて淑子さんとゆしよませうりゆうとすく
おまきさんのもとで小父様と小母様がおひの子をもてておひすて
おまきさん達もてちにお出でをおまかせられしゆる。それから西芳寺（サガ寺）
まで秋の用金道を歩き、小父様が大好きだとおつやる野薺の種をとつくり
しきらが淑子さんお持て帰られるあの種がうそくアメリカで生葉を出すことよ
うか？、昔子はとくとくと美しくビロウドの粉を呑、又池にうつる紅葉木の
影か枝影に淑子さんが行なうて、はるなとこうが大好きをういとと言つていう
しゃりすた、淑子もお富に小父様、小母様もゆくとゆくとゆくとゆくとゆく
でいた。其所からタクシーで嵐山まで行ふ船に乗車して美しい紅葉の山
を見ゆる。とども絵の舟に着くと淑子さんのお陰で母も叔も今年は
春時ういの秋を樂んで居りやう。

一旅は母と渠、我欠橋とかしてよに高雄の帰りに龍安寺の古墓に詣で
ておひそかに、汝子たる參りを。ソトおはす林もお庭など。

K. Setoguchi
Teramachi Nijo,
Kyoto, Japan.

卷之三

PAR AVION 航空

内田兄弟上様
十月三日
お忙しい中かくは年賀を貰ふ事多くお見附
御ちやからちやくちゆうか便りが行く事と存り
おもろ日ゆく者多くあり平日は積運
ぎさうたは乃ひそりそりそりあらそりそりも怪しきソリすか旅ちひてけりをすから中々を氣で
感つてけりをすには年ね九條へ送るタガ方舟がす屏り十九日自御なり京場で待合
て御立處、実、私とえでさき仕に行す三屋のに坐るを半ぐで帰り道すから籠あ并の
墓参とか居て相見を一席はすませそなは佐職からおまの考うは駆走にむけずて
えう屏りすたぢみく多きをとゆる事のでどうぞ子興強行屏にむかひてすが
駆走の事と存り事す。昨年は朝、うち年賀を送りてからちゆうかけておまくまの事
行き、お雇方舟のつけ駆走はむかて年ねあまきまんの事ので昔井と嵐山を見物した
駆走の後代も併んで一席に事りすたゞも大せびひひた事は、静かなものと舟でゆとり
時よりぬれ代も併んで一席に事りすたゞも大せびひひた事は、静かなものと舟でゆとり
いた御ちやんじ初めて「大だいへり」た柄は夫婦の心からうは親侍は親類以上での温生
おもてなしではけり立たて御ちやんじ言葉もほんと美しいとて御まわはオーバーナイスの
進發ひす。何をかほとに一番美しのがわからなくなるひせう



AIR LETTER

Mr. & Mrs. D. T. Uchida
645 - 63rd st.,
Oakland, Calif.
U. S. A.

この郵便物には何物も封入又は添附できません

バースデーには伯母様のカードを置き、バースデーケーキを飾りました。きっと娘さんが床をこ舄しておられ了りよう、バースデーで他からもか招きがありましたが、おまけに新達の方に手を下さるやうを承知しておひそりとてお悔しく思ひ立つて、何うかお馳走はおまかせへけれど、またその後の夜はくわいお便りを教へます、えちばには遠く離れているやうつらすとか感じにならぬかとお察りしちゃう。

今は私は伯母様のお編みにそろそろおひそりセーターを着て居ます。よく似合うと云ふことを石、もう一度ありますと云ふ事です。

伯父様の椅子の因解に娘さんと一緒に大笑ひしましたよ、こぢんらら送るのを待たずして食事に出かけて来て下さいませんか？ Ha Ha Ha 二十日夜 退院